

佐賀市文化会館で行われた佐賀大学の卒業式。学生、大学院生それぞれが希望を膨らませて社会へと巣立った



# 佐賀スケッチ

三月二十四日、佐賀大学の卒業式が行われた。正式には「学位記授与式」という。学生、大学院生千六百三十五人がそれぞれの学位を与えられた。これだけの人数が入るホールは大学の中にないので毎年、佐賀市文化会館で行われる。

三月二十四日、佐賀大学の卒業式が行われた。正式には「学位記授与式」という。学生、大学院生千六百三十五人がそれぞれの学位を与えられた。これだけの人数が入るホールは大学の中にないので毎年、佐賀市文化会館で行われる。

## 卒業の留学生 積極的な活動の劉さん

劉さんと私の出会いは五年前。そのころ私はフアンセで働いていたが「歌謡曲にみる女性の変遷」というテーマでイベントを開いた。「ここに幸あり」から「地上の星」までの歌詞に描かれた女性像を検証するという企画で、ホールにカラオケセットを持ち込み、題材として選んだ曲をカラオケ大好きと言う人に歌ってもらい、音楽家と私がコメントをするという内容だった。

そこに劉さんが参加してテレサテンの「時の流れに身をまかせ」を流ちょうな日本語で上手に歌った。聞くと、まだ日本に来てわずか、大学の掲示板で「歌い手募集」の張り紙を見つけたこと。この積極的な姿勢はその後の大学生活でも続いていたようで、二〇〇五年には中国人留学生の学友会長を務め、NHK佐賀放送局のアジア情報の担当者もしていた。

四月からは大学で学んだことを生かし、北九州市でシステムエンジニアとして働くという。劉さんと卒業生に幸あれ。  
(佐賀大学理事・北島悦子)  
※次回は四月八日の予定です。